



れいめいの今を伝える

第4号 特集 2014 れいめいの夏

REIMEI NAVI

各 学 科 ・ コ ー ス の 取 り 組 み

文理科

～ 鹿大・九大への オープンキャンパス～

8月2日（土）～ 3日（日）、文理科1年生は鹿児島大学に、文理科2年生は九州大学にオープンキャンパスに行ってきました。

さまざまな学部 of 講座の中から、生徒たちは自分で選んだ講座を受講し、大学で学ぶ自分の姿を描き、今後の進路について考えるよい機会になりました。



※ 九州大学の学部棟の前にて「ハイチーズ！」

～「キャリア教育講演会」& 「卒業生（現役大学生）による講話」～

文理科対象に8月19日（火）にキャリア講演会を、8月20日（水）に卒業生（現役大学生）による進路講話を実施しました。

キャリア講演会では、れいめい中学校第1期生の羽田野大樹氏から、“社会に必要とされる人材になるために何が必要か”という話を聴きました。

また、卒業生（現役大学生）による講話を聴いた生徒たちは、「頑張ったからこそ第一志望に合格できるのだから、もっと頑張らなければ」、「来年後悔したくない」とそれぞれ思うところがあったようです。



※ 卒業生による体験談を真剣に聴く生徒たちの様子

～ 九州夢大学～

7月23日（水）、鹿児島市の県民交流センターにて、九州夢大学（大学や企業の説明会）が行われ、文理科1年生と2年生が参加しました。

会場では、九州の大学や県内の企業がブースを設け、生徒たちに進路について丁寧に説明してくださいました。



※ 大学や企業の説明を熱心に聴いている様子

普通科

～ 空からのおもてなし講座～



※ 空からのおもてなし講座の様子

7月31日（木）、普通科キャリアアップコースを対象に、ANA客室乗務員で地域おこし協力隊員の服部恭子さんを講師にお迎えして、「空からのおもてなし講座」を行いました。

生徒たちからは、「航空会社のグランドスタッフの仕事に興味を持ちました。」「品のある格好いい大人になりたいです。」などの声が聞かれました。

また、その引き続きで8月28日（木）、鹿児島空港へ見学に行きました。

天候について情報管理伝達をする管理センター、空港内にある空ステージの見学等、盛りだくさんの内容でした。



※ 空港スタッフの方と一緒にハイチーズ

今回の講座や見学で知ることができた内容は限られていましたが、実際の現場を見ることで、「働く」ことについての視野が広がったようです。

～ 自衛隊研修～

8月20日（水）～ 22日（金）の3日間、キャリアアップコースの生徒5名が川内自衛隊基地にて自衛隊研修に参加しました。ショベルカーの乗車体験や基本訓練、体力検定、救急救命などの隊員が実際に行う訓練の体験をしました。

参加した生徒も「自衛隊員はきつい練習を重ねている。だからこそ急な災害など体力が必要な現場で力強く頑張れるのだということが分かりました。」と自衛隊員のすごさを実感したようでした。



※ 研修の合間のちょっとした休憩中

工学科

～ 建築設計競技への熱き挑戦～

工学科の生徒が、鹿児島県建築士会主催の建築設計競技に挑戦します。本校工学科からは2チームで4名が夏休み返上で設計活動に取り組み、9月上旬の提出に向け、熱く頑張っています。

生徒たちも、「この設計競技に参加するのが楽しみで建築コースに進みました。入賞できる作品を完成させます。」と意気込み十分です。



※ 建築設計競技に向けて熱心に取り組んでいる様子

～ 目指せ！建設機械オペレータ～

工学科の生徒を対象に、7月23日（水）～ 24日（木）の2日間、「小型車両系建設機械」の特別教育講習を本校敷地内で実施しました。

受講者は工学科3年生の10名で、学科8時間、実技8時間の日程を猛暑の中、汗をぬぐいながら奮闘し、みごと全員合格。生徒たちも「暑い中での実技講習でしたが、以前から重機を操作することを夢見ていました。暑さも忘れ、感動と緊張が混同した中、とても充実した2日間を過ごすことができました。」と達成感を味わっていました。



※ ショベルカーを操作している様子

～ 工学科1年 技能資格への初挑戦～

8月20日（水）～ 21日（木）の2日間、川内市民文化ホールにて「ボイラー取り扱い技能講習」が実施されました。

受講申込者は工学科1年14名、普通科1年2名で、講習内容は2日間ともボイラーに関する知識・法令について学び、最後に確認試験を実施するという形式でした。

受講生はいつも以上の集中を見せ、講師の発する一つ一つの要点項目を聞き漏らさないように真剣にノートを取っていました。

その努力の甲斐があり、無事全員合格！初めての資格取得を成し遂げました。

学校行事・部活動の取り組み

学校行事

～ 夏の一日体験入学を開催 ～

7月26日（土）に夏の一日体験入学を開催いたしました。

天候も晴天に恵まれ、多くの中学生が真剣かつ明るい表情で体験していた様子に、本校への興味・関心がうかがえ、嬉しく感じるところです。

また、保護者対象学校説明会も同時に開催し、多くの保護者にご参加いただきました。

本当にありがとうございました。



※ 体験入学の講座（英語）の様子

TOPICS

大成功！川内駅おもてなし事業！！

7月19日（土）、れいめい高校の管弦楽部と普通科キャリアアップコースの生徒が「川内駅おもてなし事業」に参加しました。

「川内駅おもてなし事業」とは、薩摩川内市誕生10周年、九州新幹線開業及び肥薩おれんじ鉄道運行開始10周年を記念し、駅を利用される方々に対し薩摩川内市のPRを行う事業のことです。

おもてなし演奏では、本校管弦楽部による歌劇『フィガロの結婚』序曲や『ハリーポッターのテーマ』など5曲を演奏しました。

生徒たちも、「お客さんに立ち止って笑顔で聴いていただき、拍手をしていただけて嬉しかった。」と喜びを感じていました。



※ 管弦楽部による「おもてなし演奏」の様子

また、改札口近くで、普通科キャリアアップコースの生徒を中心に、冷やした緑茶「大綱みどり」と茶菓子「げたんは」のふるまいをしました。

連休の初日でもあったため、多くのお客さんに薩摩川内市のPRができ、おもてなし事業は大成功に終わりました。



※ キャリアアップコースの生徒によるおもてなし！

部活動

～ 卓球部 全国大会
シングルス(川路選手)ベスト16 ～

川路斗真選手（れいめい中卒）は5回戦まで勝ち進む大健闘を見せ、鹿児島県では30年ぶりとなるベスト16入りを果たし大活躍でした。

川路選手は、「ランキングに入ることを目指して頑張り、ベスト16に入れて良かった。来年1月の全日本ジュニア選手権でベスト8を目指し、一層努力していきたい。」とコメントしています。



※ 川路選手 勝利のガッツポーズ

～ 男・女体操部 全国大会に出場！～

東京都代々木第一体育館で全国高等学校総合体育大会体操競技大会が行われました。

女子は怪我をしている選手がいる中、中島礼菜（れいめい中卒）、山下優美（上小原中卒）、中島芽衣（れいめい中卒）、山口友佳（城西中卒）の各選手とも精一杯の実力を出し切りましたが、あと少しのところで決勝進出はできませんでした。

男子は、床では永山大希（れいめい中卒）、あん馬では青木基（紫原中卒）、跳馬で佐々木将大（志徳中卒）、鉄棒で高橋（松沢中卒）と各種目で会場を湧かせ決勝進出を果たし、全国12位に輝きました。



※ 女子体操部 東京都代々木第一体育館にて

～ 野球部 北薩地区大会 優勝 ～

8月下旬、平成26年度秋季北薩地区高校野球大会が行われました。れいめい高校野球部は各試合集中して後半まで粘り強く戦い抜きました。

決勝戦では、同点延長10回にエース杉安浩君（川内南中卒）の逆転タイムリーでランナーが帰り、川内高校に4－3で勝ち、優勝。見事、三連覇を果たしました。



※ エースの杉安選手が投げている様子

インフォメーション

本校は本年度 創立50周年

- 創立50周年記念講演会 10月10日（金）
- 創立50周年記念式典 10月19日（日）
- 秋の一日体験入学 10月25日（土）
同日開催：保護者対象説明会

学科・コースの紹介、楽しくて役に立つ授業や部活動が体験できます。在校生による学校生活紹介、管弦楽部による演奏などがあります。

また、同日に保護者の皆様を対象に学校説明会や相談会もあります。ぜひ、ご参加ください。



- 文理科見学会 10月4日（土）
時間 9:00～11:00 11月15日（土）
12月6日（土）

知って得する 学費免除制度

● 国の高等学校等就学支援金制度

高等学校等就学支援金制度とは、家庭の状況に応じて、国の費用により、私立高校に通う生徒の授業料に充て家庭の教育費の負担を軽減する制度です。

所得に応じた補助	両親または保護者の所得額		就学支援金額	
	A	250万未満	月額 24,750円	(②の2.5倍)
	B	250～350万未満	月額 19,800円	(②の2倍)
	C	350～590万未満	月額 14,850円	(②の1.5倍)
	D	590～910万未満	月額 9,900円	(②の1倍)
	E	910万以上	月額 0円	(該当なし)

● 専願制度

専願制度とは、本校を第1志望で受験し、合格した場合に入学を確約するという制度です。

専願制度を使って合格した生徒に対しては、卒業までの3年間にわたり授業料を月額1万円免除いたします。

※ これらの学費免除制度を活用することにより、ご家庭による負担額は軽減されています。

そのため近年では、全体の就学人口が減少しているにもかかわらず、私立高校の就学人口は増加してきています。

我がれいめい高校も、昨年に比べて入学者数が増加しています。本校のきめ細かな指導が今、求められているのです。